

らくのへ 議会だより

ナイスショット!!!

小中学生21人が六戸高校ゴルフ部・六戸ゴルフ協会の方々の指導のもと、真剣に練習をしていました。将来日本を代表する選手が現れるかも！

【平成30年度決算】

歳入61億円、歳出58億円を認定 2

【決算特別委員会】

町の決算をチェック！ 4

【一般質問】

先端農業技術、町職員数、環境問題など 8

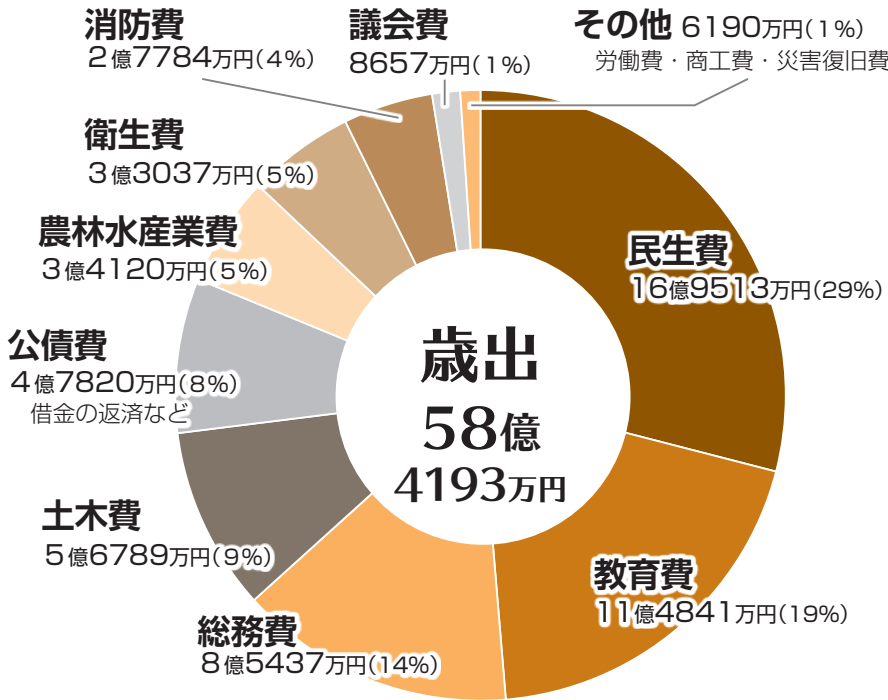
【一般質問の検証】

その後のその後 13

町のお金の使いみちをお知らせします

、歳出58億4193万円を認定

一般会計



9月定例会が9月6日から12日までの日程で開催されました。平成30年度の一般会計および各特別会計の決算では、詳しく審議するために決算特別委員会を設置しました。2日間の期間を設け、10日は一般会計を、11日は特別会計を慎重に審議した結果、全会一致で原案のとおり認定しました。

(決算特別委員会でも出された質疑は4、5ページをご覧ください)
また、定例会の本会議では、平成30年度健全化判断比率の報告をはじめ、条例改正や補正予算、人事案件を含む22件を原案のとおり可決、同意しました。(詳しい内容は、6、7ページをご覧ください)

●総合体育館大規模改修工事 (I期工事) (3億4884万円)



●大曲小学校校舎を増築 (2億7424万円)



教育費

学校教育や生涯学習など

●児童館にエアコンを設置(218万円)
・六戸→3台
・七百→1台
・大曲→4台

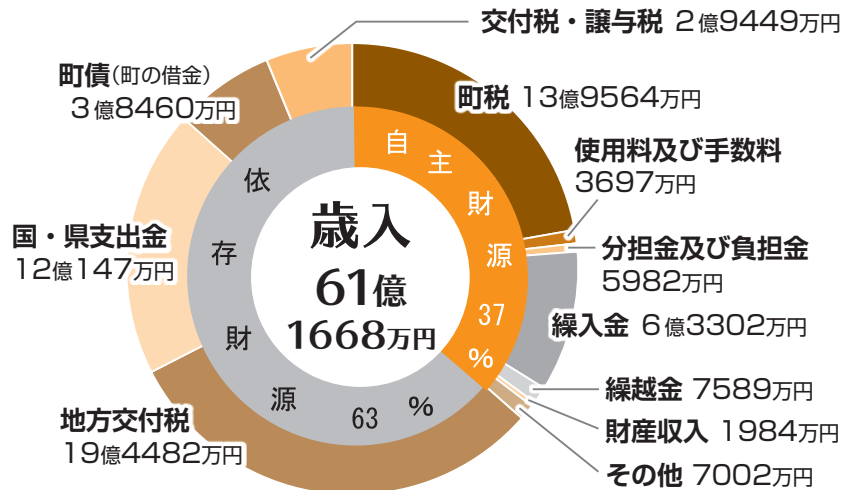
民生費

児童福祉や高齢者福祉など



敬老会の様子

ほかには
いろいろ



歳入61億1668万円

監査意見



議場で報告する吉田透代表監査委員

歳出増額も概ね適正

平成30年度一般会計歳入歳出決算及び各特別会計は適正水準であった。

財政運営は、教育費で大規模な工事を複数実施したことにより、歳出は大幅な増額となったが、概ね適正な範囲内での増減だったと認められる。

より一層の徴収強化を

平成30年度においては、景気の先行きに不透明感が増し、景気の曲がり角に差しかかりつつある。税収の頭打ちなど予断を許さない状況が続き、国の財政逼迫^{ひっばく}、地方財政の悪化など、厳しい状況が発生することも予想される。

そのために、財源確保や利用者負担の公平性・公正性の確保の点からも、より一層収入未済額圧縮等の債権管理を強化し、適切な徴収を進めてほしい。

- 道路除雪に関わる作業業務(4396万円)
 - ・町内一斉出動は10回でした



土木費

道路や橋、河川などの維持管理



- 館野公園にトイレを設置(1420万円)

- 空き家取り壊し工事(276万円)

ほかにはこれも

農林水産業費

農業振興や商工費、観光振興など



- にんにくウイルスフリー種子購入助成(422万円)
 - ・121人が申請しました

- 町六戸ブランド推進事業(268万円)

- ・特産品を活用した料理勉強会へ助成
- ・特産品の商品開発
- ・町内4保育園と若手農業者による「ちびっこベジタランド」プロジェクト

- 六戸産品販売促進事業(252万円)

- ・青森シャモロックザ・プレミアム
- ・#6販路拡大事業



- ベジタランドろくのへ若手農業者の活動を支援(65万円)

消防費

消防団活動や災害対策など



ほかにはこれも

- 消防車両(1576万円)

- 消防団屯所の改修(折茂・405万円)



- 文化ホール前の駐車スペースを広くしました(1083万円)



- 役場庁舎にエレベーターを設置(4287万円)

総務費

人件費や庁舎管理など

ほかにはこれも

- 若者定住支援事業(727万円)
 - ・19世帯54人が申請しました
- 定住促進新築住宅建設補助(3401万円)
 - ・64件の申請がありました

決算特別委員会

町の決算をチェック!

おらえの家計簿は?



決算質疑の様子

平成30年度の一般会計、特別会計の決算を認定するかどうかを審議する決算特別委員会（杉山茂夫委員長・委員11人）が、9月10日、11日に開かれました。

審議の結果、すべての会計を認定と認めました。委員から出された質疑を要約してお知らせします。

一般会計

歳入

ゴルフ場利用税

問 下田敏美委員

ゴルフ場利用税が前年度に比べ、かなり増額していた。町の貴重な観光施設の一つであるため、周辺の道路の草刈りの回数を増やしてはどうか。

また、観光パンフレットなどでPRをしては

答 外山建設下水道課長

草刈りは交通量に応じ、年に1〜2回実施しています。今後、企画財政課と協議して検討したいと思います。

答 吉田町長

観光パンフレットという事より、町の特徴として捉えるPRに心掛けてやっていきたいと思っています。

地方交付税

問 高坂茂委員

地方交付税が29年度に比べ30年度に減少した理由は

答 円子企画財政課長

町民税などの税収が増えたことが、一番の要因になります。

町施設の使用料

問 下田敏美委員

郷土資料館などの施設によっては、使用料の減免範囲を広げれば、利用効率上がるのでは。施設利用者を増やす方法を考えては

答 吉田町長

使用料ですが、今の基準に合わせてやっていきたいと考えます。

問 瀧口教育長

全体のバランスの中で使用料を考えていますが、郷土資料館の入館料を検討する余地は十分にあるかと思っています。

農業次世代人材投資事業補助金

問 長根一男委員

農業次世代人材投資事業補助金※として県から1500万円の補助がきているが、最近の新聞等で、国が減額すると報道されていた。町にそのまま1500万円が入ってきているのか。また、今年度の分はどうなるのか

答 高橋産業課長

30年度は、申請どおりの額の交付を受けています。ただし、31年度は報道のとおり若干の減額があります。その分は調整しての支払いになると思います。

※農業次世代人材投資事業補助金（旧青年就業給付金）とは…新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円を交付する事業のことです。

歳出

インフルエンザ予防接種

問 長根一男委員



郷土資料館

現在、高齢者のみに行って
いるインフルエンザ
予防接種費用扶助を、小
学生まで範囲を拡大する
ことはできないか
答 館福祉課長
近隣を調査し、検討し
ます。

**ごみ不法投棄の
監視業務**

問 高坂茂委員
ごみ不法投棄の監視業
務はどのぐらいの頻度で
行っているか。また、課
長は投棄防止の立て看板
チェックや見回りの指示
をしているか
答 小林町民課長
監視業務は、7月から
11月まで週2回、2班で
行っています。不法投棄
の多い箇所を中心に町全
体を巡回しています。見
落とし等がある場合は、
連絡を頂ければと思いま
す。

健康増進事業

問 高坂茂委員
巡回の細かい指示は私
のほうからは出していま
せんが、今後、状況を把
握し、指示したいと思ひ
ます。

**特定検診の受診率と、
がん精密検査受診への指
導は**
答 館福祉課長
特定健診の受診率は
38・6%です。
がん精密検査受診への
指導は、電話や保健師の
訪問などで行っておりま
す。今後、内部で勧奨の
仕方を再度確認し、受診
率の向上に努めたいと思
います。

特別会計

問 国民健康保険
国民健康保険事業会計
の今後の状況は。今年、
国保税の税率改正を行っ
たが、この税率で何年い
けるか
答 小林町民課長
国保税の税率を設定す
るときは、少なくとも3
年間は同じ税率で運営で
きると見込んでいます。
また、本会計の29年度
は3千万円の赤字となり、
基金（貯金）に入れまし
た。現在は4千万円の基
金があるので、運営は大
丈夫だと考えています。

問 高坂茂委員
現在、小中学校の約50
%が洋式化されたが、今
後の洋式化の取り組みは
答 瀧口教育長
児童・生徒の使用状況
等を十分把握し、今後の
方向性を示したいと思ひ
ます。

災害対策

問 下田敏美委員
台風などの災害で太陽
光パネルの火災が考えら
れる。災害時に対応した
訓練が必要では
答 吉田町長
消防・防災等に関する
情報を集め、消防署への
確認を行いながら、対応

農業集落排水事業

問 高坂茂委員
集落排水区域で、今後、
新たに排水事業に加入す
ることは可能か。可能な
らば、費用の負担は
答 外山建設下水道課長
可能です。事業開始時
に汚水公共ますを各世帯

の仕方を考えたいと思ひ
ます。

地域包括支援センター

問 高坂茂委員
総合相談件数が延べ5
千件を超えており、対応
が大変だと思われる。地
域包括支援センターの現
在の職員状況は。福祉課
長が兼任するのではなく、
専属の課長を配置する考
えはあるか
答 館福祉課長
現在は、一般職3名に
保健師・看護師・ケアマ
ネジャーなどの専門職員
を含めて合計12名で対応
しております。

問 高坂茂委員
現状を再度確認します。
地域包括支援センターに
限らず、全体を見渡し、
現在の課の配置でいいの
かどうかを考える必要が
あると思われれます。

特別会計

金矢地区を除く、七百
地区と岡沼地区について
は、3千万円の負担金を頂
いておりますので、使用
料だけの負担となります。

平成30年度会計別決算の状況

(金額：万円)

会計の種類	歳入(収入)	前年度 との比較	増減率 (%)	歳出(支出)	前年度 との比較	増減率 (%)
一 般 会 計	61億1668	4億6740	8.3	58億4193	3億5854	6.5
特 別 会 計	国民健康保険事業	△1億4817	△10.5	12億2812	△1億4793	△10.8
	下水道事業	2360	8.4	3億492	2306	8.2
	農業集落排水事業	2052	13.5	1億7260	2051	13.5
	介護保険事業	2209	1.5	14億2934	1943	1.4
	後期高齢者医療	156	1.3	1億1850	120	1.0
	霊園事業	△17	△1.9	901	△17	△1.9
	国民健康保険診療所事業	△3333	△7.7	3億9966	△3333	△7.7
	特別会計の合計	△1億1389	△3.0	36億6218	△1億1721	△3.1

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
 ・川村重光議長は採決には加わりません。

議案番号	議案名	盛田嘉彦	松橋一男	種市正孝	長根一男	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	円子徳通	山本実	苦米地繁雄	審査結果	採決日
報告④	30年度青森県新産業都市建設事業団の決算報告 (金矢工業用地造成工事に関わるものを含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	9月12日
報告⑤	30年度六戸町健全化判断比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
報告⑥	30年度六戸町資金不足比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
認定①	30年度六戸町一般会計決算認定 (歳入61億1668万円、歳出58億4193万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
認定②	30年度六戸町国民健康保険事業特別会計決算認定 (歳入12億5862万円、歳出12億2812万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定③	30年度六戸町下水道事業特別会計決算認定 (歳入3億546万円、歳出3億492万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定④	30年度六戸町農業集落排水事業特別会計決算認定 (歳入1億7261万円、歳出1億7260万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定⑤	30年度六戸町介護保険事業特別会計決算認定 (歳入14億6803万円、歳出14億2934万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定⑥	30年度六戸町後期高齢者医療特別会計決算認定 (歳入1億1902万円、歳出1億1850万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定⑦	30年度六戸町霊園事業特別会計決算認定 (歳入歳出ともに901万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定⑧	30年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計決算認定 (歳入歳出ともに3億9966万円を認定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑳	六戸町印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案㉑	六戸町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉒	六戸町行政財産使用料徴収条例の一部改正(消費税改定のため)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉓	六戸町公園条例の一部改正(消費税改定のため)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉔	六戸町下水道条例の一部改正(消費税改定のため)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉕	六戸町道路占用料等徴収条例の一部改正(消費税改定のため)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉖	六戸町法定外公共物管理条例の一部改正(消費税改定のため)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉗	平成31年度六戸町一般会計補正予算(第2号) (5551万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉘	平成31年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第2号) (118万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉙	平成31年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) (33万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉚	平成31年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) (2734万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案㉛	31年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算 (第1号)(263万円の減額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意②	六戸町固定資産評価審査委員会委員の選任 (佐藤隆氏=大曲、再任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
同意③	六戸町教育委員会委員の任命(保土沢まり氏=鶴喰、新任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

次のページは 一般質問

9月定例会の4日目に一般質問が行われ、長根一男議員、盛田嘉彦議員、松橋一男議員の3人が登壇しました。

一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。

質問者と内容



ながね かずお
長根一男 議員

8 ページ

- 1月の町長選挙に出馬する意向を問う
- 先端農業技術の導入事業を検討しては
- 金矢地区を通る県道22号線の道路拡幅について伺う



もりた よしひこ
盛田嘉彦 議員

9 ページ

- 町民が求めるニーズに対し、現在の町職員数で対応できているか
- 健康診査の年齢を引き下げては
- 不妊治療の無償化について問う



まつはし かずお
松橋一男 議員

10 ページ

- プラスチック製品と環境問題について
- 定住促進事業の新たな取り組みはあるか
- 小中学校にエアコンを設置する考えは
- 災害避難支援名簿の未作成について問う

一般質問とは

- 定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- 質問項目は事前の通告が必要です
- 質問者の順番は通告した順番で行われます
- 質問形式は「一問一答方式」で行います
- 同一項目について質問の制限はありません
- 一人60分の制限時間があります

9月定例会で決まったこと

条例改正

◆ 住民票に旧姓表記が可能に

11月から本人の手続きにより、住民票やマイナンバーカードに旧姓を併記することが可能となります。

また、印鑑登録の場合も、住民基本台帳に旧姓を併記していれば旧姓で

旧姓表記のメリットは？

こんなときに！

各種の契約や銀行口座の名義に旧姓が使われる場合で、その証明に使えます。



こんなときに！

就職・転職時など、仕事の場面でも旧姓で本人確認ができます！



※総務省ウェブサイトより

も印鑑登録することができるようになります。

◆ 町職員の時間外勤務

町職員の正規の勤務時間以外の時間を定めます。時間外勤務の上限を、月45時間、年360時間とします。災害などの特別な場合は月100時間未満、年720時間とします。

人事案件

◆ 固定資産評価審査委員会委員

次の方を固定資産評価審査委員会委員に同意しました。任期は令和4年9月18日までの4年間で

▽佐藤 隆さん (大曲) 再任

◆ 教育委員会委員

次の方を教育委員会委員に同意しました。任期は令和4年9月12日までの4年間で

▽保土沢まりさん (鶴喰) 新任

補正予算

◆ 一般会計5551万円を増額

平成31年度一般会計補正予算では、歳入歳出に5551万円を増額し、総額6億2181万円となりました。

▽議会議員の県外視察研修 (296万円)

▽車いす使用者や妊婦の方の駐車スペース看板

▽除雪に関係する経費 (4493万円)

▽ふるさと納税を基金に積み立て (120万円)

▽中体連などの大会に選手派遣の補助 (97万円)

▽消防団幹部による視察研修 (218万円)



人事案件で起立採決を行っている様子

▷使用料及び手数料…町の施設の利用や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収されたお金です。文化ホールの使用料や住民票の写しの交付手数料等が該当します。



ながね かずお 議員
長根 一男

町長選挙に出馬の考えはあるか

町の安定に寄与したい — 町長

問 来年、1月の町長選挙へ出馬する意向はあるか

町長 今日まで、町民の皆様のおかげで、ご支援とご協力・ご支持を賜りまして、「安らぎと感動の定住拠点六戸」を目指し、町政運営にあたってまいりました。今後、後援会や関係者の皆様と相談しまして、新たな時代も、また、町の安定に寄与できるなら幸いと思っております。

先端農業技術の導入事業を検討しては

今後の状況を注視 — 町長

問 労働力不足に対応した先端農業技術導入事業を行う考えはあるか

町長 今後、先端技術の効果の実証等が確立し、安全性も確保された際は、町内農業者が省力効果の高い先端農業技術や機械導入をする際にバックアップしてまいります。



農作業の省力・軽労化に期待
(写真は農林水産省ホームページより)

産業課長 今後、導入するにはあたっては、かなりの費用が想定されます。実証作業試験が終わりまして、安全性が確保され、値段も下がって導入できる体制が整いましたらバックアップする体制を進めていきたい。

県道拡幅要望の継続を

三沢市と強く

要望を続けたい — 町長

問 金矢地区内を通る県道22号線の拡幅について

町長 上北道路の開通や、金矢工業団地の誘致企業の操業により、大型車の通行量が増加しております。今、三沢市

と相談いたしましたので、S字カーブの坂道を整備します。架橋による坂道解消や、金矢集落内の拡幅を早期に実現し、スムーズに通行できるように県へ強く要望を続けます。



金矢地区集落沿いのY字路



もり た よし ひこ
盛田 嘉彦 議員

現在の職員数で 業務に対応できているのか

対応しきれない部分がある — 町長

問 近年、町民が役場に求めるニーズは、多様化・複雑化しており、現在の職員数で対応できているのか

町長 これまで定員管理計画のもと、20年前に比べて職員数が減っています。町民からの要求も多種多様化していて、中には行政としてもどうだろうかというものにも時間と労力を奪

われ、対応しきれない部分もあると認識しています。
問 今のような受け身の求人募集で人材を確保できるのか

総務課長 今年度初級職・中級職を募集しましたが、応募者はありませんでした。今後、新たな策も考えていかなければならないと思います。



役場1階の窓口。住民の対応以外に、職員は多くの業務を抱えている。

健康診査の年齢を引き下げては

国民健康保険加入者を対象に検討 — 町長

問 がん・病気の早期発見は、若いうちから正しい指導のもと生活習慣や食生活を見直すことが重要で、将来的には医療費の削減にもつながると思う。

町長 若い時から自分の健康状態を理解する事は有効だと思いますが、一方で料金体系などコストも重要だと捉えています。課題を整理し、事業化に向け検討したい。基礎検診の年齢を引き下げられないか

町長 若い時から自分の健康状態を理解する事は有効だと思いますが、一方で料金体系などコストも重要だと捉えています。課題を整理し、事業化に向け検討したい。

問 財政的な面を考慮して、20歳から5年おきに実施してみてもいいか

町長 農家などの自営業者や国民健康保険に加入している方を対象に前向きに考えたいと思います。

不妊治療の無償化について問う

補助金拡大を含め検討 — 町長

問 現在、晩婚化ということもあり、不妊に悩む方が増えている。その方々は精神的・肉体的にもかなりの負担を強いられている。金銭面のサポートだけでもできないか

町長 町では、1回の治療費につき、県助成金の助成額の3分の2、または10万円のいずれか低い額を上限として補助しています。この治療費にかかる費用は県及び町の補助金を充てても自己負担額が多額となつていられる方もいらっしゃいます。今後については、検討の結果、可能であれば支援拡充できるように考えていきたい。



まつ はし かず お
松橋 一男 議員

使い捨てプラスチックと環境問題を問う

海洋に流出させない社会に向け努力が必要 — 町長



道の駅でも使われているレジ袋。
使い捨てプラスチックはさまざまな所で使われている。

問 町の施設での使い捨てプラスチックの使用状況と農業用資材の生分解性プラスチックの活用状況は

町長 道の駅では年間でレジ袋約8万5千枚、加工室でのビニール袋約3万3千枚、食品容器約7千600個使用しています。

問 農業用資材の生分解性プラスチックの使用を促すために、助成金等の考えは

町長 生産者の皆さんが生分解性プラスチックに対して、メリットを重視し、若干の負担増を受け入れるようになれば、協力できるのではないかと思います。

また、農業用資材の生分解性プラスチックの活用状況は労力低減や環境保護の面においてメリットがあるものの、コストや強度等のデメリットによりほとんど使用されていません。

問 小中学校のエアコン設置状況は

教育長 保健室、コンピュータ室等の特別教室への設置率は8・9%、普通教室は0%、全体で5・1%となっておりです。
エアコンの設置は多額の費用を要するため、国及び県の補助や近隣市町

問 鶴田町、東通村等で100%の設置率であったが、他の町村でできて六戸町でできない理由は

町長 鶴田町、東通村は校舎を新築したため、設置率が高いと思います。

費用を要するも引き続き検討 — 町長

小中学校にエアコンを

問 若者の六戸町への定着率は63・7%、県平均と同程度だったが定住促進事業の現状と新たな取り組みは

町長 現状は若者定住支援事業補助と定住促進新築住宅建設補助

があり、六戸町の人口増にこれらの促進事業が功を奏したものと捉えています。
また、新たな取り組みとして今年度から空き家バンク制度を実施しています。

定住促進事業の新たな取り組みは 空き家バンク制度を実施 — 町長

災害避難支援名簿 未作成について

本人の同意を得ていなかった — 町長

問 災害避難支援名簿全国99%準備も、六戸、鶴田、田舎館未作成との報道があった。詳細を問う

町長 名簿は作成済みでしたが、名簿提供の際に必要な本人の同意が得られていなかったため未作成と回答しました。後日、調査の回答については、作成済みと修正しております。

議会活動あれこれ

- このコーナーは、議員の研修報告や議場以外の議会活動などを皆さんにご報告するページです。
- 議員は議場で審議するだけでなく、日々さまざまなところで活動しています。

議会改革 第2ステージへ

7月31日、青森中央学院大学佐藤淳准教授を招いて、改選後初となる議会改革についての研修会を行いました。

まず、改選前の4年間を振り返り、「活動が結果まで結びついていない」などの反省点が挙げられました。今任期中は、反省点を踏まえ政策提言などで、地域課題を解決・成果を出す議会を目指すよう指導を受けました。

今後、六戸町議会は意見交換会や一般質問の課題等について議員間討議を行い、意見書・要望書などの形で政策提言を町執行部に行えるような活動をしていきたいと思ひます。



指導いただいた講師の佐藤淳准教授。結果を出す議会を目指す

国政の動向を知る

7月10日、青森市において県下町村議員研修会が開催され、議員全員で参加しました。

講師は政治アナリストの伊藤惇夫氏で今後の政局、政治展望の演題で公聴しました。

内容は、今後とも安倍政権は安定多数で続くと思われるが、政権のおごりが心配される、日本の長期ビジョンを国民に示すべきとの結びで終えました。

次に、青森県型地域共生社会の実現に向けて、県から施策説明を受けました。2025年問題と想定される具体的な影響について、その実現に向けて県の取り組みや市町村の取り組み例の紹介がされました。

六戸町も課題として早期に地域共生社会体制づくりに取り組むべきだと感じ、有意義な研修でした。

(川村重光)



マスメディアに多く登場している講師の伊藤惇夫氏

傍聴に おいでください

次回の定例会は12月6日(金)午前10時から開かれる予定です。ぜひ、傍聴においでください。

9月定例会は、10名が傍聴にいらっしやいました。

☎ 議会事務局
☎55 - 4547



議会のひびき

(令和元年6月～8月)

- | 7月 | 6月 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1日 * 十和田地区暴力追放推進協議会理事會・総会 28日 議会広報委員会 30日 * 三沢地区消防団連合観閲式(三沢市) 27日 * 八戸市市制90周年記念式典 * 北奥羽開発促進協議会総会 25日 産業民生常任委員会 26日 * おいらせ農業協同組合通常総代会 20日 * 十和田地域消防安全管理協会創立10周年記念祝賀会 18日 総務常任委員会 11日 議会広報委員会 8日 * 十和田警察官友の会集いの会 7日 6月定例会開会(～11日) * 県町村議会議長会臨時総会 6日 * 町長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会 4日 議会運営委員会 1日 小学校運動会(六戸小) | <ul style="list-style-type: none"> 4日 議会広報委員会 8日 議会広報委員会 10日 県下町村議会議員研修会(青森市) 17日 議員全員協議会 18日 * 市町村対抗青森県民体育大会結団式 26日 * 郡町村議会議長会第2回定例会 31日 議員研修会 |
| 8月 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 4日 町民運動会 5日 産業民生常任委員会 15日 六戸町成人式 23日 産業民生常任委員会 28日 * 青森県駅伝競走大会選手・役員結団式 29日 * 秋季例大祭前夜祭 30日 六戸秋まつり(～9月1日) | |

*印は議長のみ出席

所管課の説明を受ける

産業民生委員会レポート：副委員長 長根 一男

8月5日、産業民生常任委員会では、所管であります産業課・建設下水道課に係る事業の現状について、各課長から説明を受けました。

また、同月23日には、所管であります町民課・福祉課に係る事業の現状について説明を受けました。2日間の所管事務調査の取りまとめを9月18日に行い、今後、所管事務調査を継続していくことを確認しました。



町民課から説明を受ける（町民課長は右から2番目）

今年度は「教育」をテーマに

総務常任委員会レポート：総務常任委員長 杉山 茂夫

総務常任委員会では、現在の児童・生徒数の状況や、学区及び統合について教育課の説明を受けた後、意見交換会等の協議を行いました。

現在の学級編成基準は、小・中学校共に40人まで1学級の編成、小学校1学年だけは、35人までとなっています。児童・生徒及び学級数は、

六戸小学校は200人の6学級、開知小学校は83人の6学級、大曲小学校は291人の10学級です。六戸中学校は120人の3学級、七百中学校は125人の4学級となっています。

出生数の数値から今後の学区ごとの児童・生徒数は、六戸小学校及び六戸中学校では、現状維持または微減で推移す

ると見込まれます。大曲小学校及び七百中学校では、増加しながら令和6年度からは減少傾向で推移していく見通しです。

教育課では、将来の学区再編や統合について、保護者や地域からの要望が無いことから、現在は考えてはいないが、地域ごとの人口及び子どもの増減を注視していく必要があるとのことでした。

これらの説明を受け総務常任委員会では、今年度内に「教育」をテーマとした意見交換会を行うことにしました。

詳細は、次号の議会だよりでお知らせいたします。

また、防衛や防災の観点から、航空自衛隊や六戸消防署の施設見学などの研修も行う予定にしております。



今回は「教育」をテーマに（写真は昨年行われた意見交換会の様子）



先日、青森市で行われた碁の大会に参加してきました。対戦相手の一人に70歳過ぎのご婦人がいて、その方はなんと60歳を過ぎてから碁を覚えたそうです。かなりしっかりした碁を打っていらっしやいました。

最近の囲碁界は10歳の可愛らしい女の子、仲邑菫初段や史上初、10代名人の芝野虎丸名人とか若い人が注目されています。年齢を重ねても楽しめるゲームの碁、皆さんも始めてみませんか。

（松橋 一男）



囲碁を始めてみませんか？

一般質問のその後

当町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のビジョンと取り組みは（平成27年3月※）

・特に人口減少の歯止めに向けた取り組みを実施。

- ①若者定住支援事業（アパート補助）
- ②定住促進新築住宅建設補助（新築補助）
- ③子ども医療費助成
- ④第3子以降保育料軽減
- ⑤学童保育所及び小学校の増築

・現行の総合戦略は令和2年度までのため、人口ビジョンを見直し、次の総合戦略を策定する。

※一般質問を行った時期



昨年12月に、議会運営委員会を開き、一般質問の検証を行いました。平成27年3月定例会から平成30年12月定例会で行われた延べ37件164項目を審議しました。（検証の内容は、ろくのへ議会だより99号に掲載しています。）

検証項目のうち、議会が注目した10項目について町当局へ回答を求めました。その結果、町から回答がありましたので、内容を抜粋してお知らせします。

町職員の自主的な啓発研修にサポートを（平成29年3月）

- ・業務に関わる研修については、業務に支障がない限り、積極的に受講するように周知している。
- ・業務と異なる自主的な啓発研修は、費用負担は難しいが、できる限りサポートしたい。



スポーツ少年団の活動における町の考えは（日常の送迎）（平成30年6月）

現在の町民バスを利用する方法や、民間のタクシー送迎を検討したが、時刻表の改正や予算等の課題が多くあり、実現が難しい。



小松ケ丘地区の公園に東屋とトイレの設置を（平成29年3月）

- ・小松ケ丘中央公園に水洗トイレを設置（令和元年11月完成予定）
- ・東屋設置については、トイレ完成後に公園の利用状況を調査し、設置の有無を検討。



小学校跡地の再利用の考えはあるか（平成28年6月）

- ・関係課長で組織する「公有財産取得処分等検討委員会」で検討している。
- ・旧長谷小学校跡地は、平成30年5月に民間企業との協定締結により、利活用事業を開始。



地産地消の観点から、道の駅拡充の考えを問う（平成28年6月）

- ・施設の拡充ではなく、施設機能の拡充を引き続き図る。
- ・道の駅を管理する委託会社に対し、経営内容の自己改善を求めている。
- ・ブランド研究会と連携し、町特産品を使った新商品開発を行っている。



UターンやIターンの積極的な対応を（平成27年3月）

- ・県と県内40市町村で組織する「あおもり移住・交流推進協議会」で情報を提供。
- ・近隣市町村と協定を結び、移住・婚活に向けた取り組みの実施。
- ・雇用対策として、金矢工業団地の企業誘致の促進。町条例を見直し、立地条件や補助要件を拡大。



町職員を民間企業で研修させてはどうか（平成29年3月）

民間企業への研修派遣の予定はない。

診療所施設を利用した病児・病後児保育を（平成29年12月）

病児・病後児保育施設の検討を行ったが、施設の改修工事、職員配置に伴う経費、立地的な利用見込みの点から難しい。



当町の空き家の実態把握と今後の対応は（平成28年12月）

- ・空き家情報台帳を作成（平成31年2月現在）
- 一般住宅 40軒
うち活用可能 12軒
- 一般住宅以外（店舗、事業所等） 45軒
- ・空き家バンクの実施
- ・空き家バンク利用促進奨励金の創設
- ・空き家実態・意向調査を実施予定（令和元年8月から令和2年3月まで）



町民の声

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、上吉田
南部駒舞保存会こまおどりの
関川邦夫さんです。

関川 邦夫 さん

プロフィール（せきかわくにお）

上吉田地区在住。高校を卒業後、海上自衛隊に入隊する。八戸基地に勤務していた頃から、上吉田南部駒舞（こまおどり）の活動に携わる。多くのへ秋まつりに参加したり、介護福祉施設を定期的に訪問し、踊りを披露している。郷土芸能を紹介する大会やイベントに参加し、上吉田駒舞のPR活動を精力的に行っている。趣味は、薪ストーブに自分で割った薪をくべること。庭にはたくさん薪が並べられている。現在は妻と猫3匹と暮らしている。62歳。



感謝の気持ちを

応援していただいている皆さんのお蔭で駒舞の活動をさせてもらっています。その感謝の気持ちを載せていただければと思います、インタビューを引き受けました。

地元の温かさ 居心地のよさ

中学3年の時、飛行機が飛んでいるのを見て「よし！あれをやろう」と決めて、中学卒業後、山梨の日本航空高等学校へ入学しました。

中学を出てから15年間くらい六戸にいませんでしたが、離れていると地



多くのへ秋まつりで披露。華やかで勇壮な踊りは目を見張るものがあります

元の温かさや居心地の良さが分かります。それもあって郷土芸能をやっているかもしれません。

きっかけは息子の参加

自分の子どもがやると、自動的に親も関わるので、長男が小学校5年生の頃に駒舞をやらないかって誘われて。それから子ども達みんなもやりだし、今も続けています。

練習半分、遊び半分

子ども達は現在、小学生22名で活動していま

す。折茂の子や木下中学校の子もいます。折茂の子は部活の縁で、木下の子はおばあちゃんが上吉田の人です。

公民館で練習していますが、練習の合間は遊びに熱中しています。学校とは違う仲間を楽しそうに走り回っています。

練習の回数は月2回がベースですが、イベントや発表があると集中して練習します。年2回の高齢者の施設訪問は25年以上継続して行っています。

子ども達の活動に光を

子ども達を表彰してもらえないかと。小学校からずっと施設訪問をやっているの、それに光をあてていただきたいです。自分のことだけではなく、人の為の奉仕の気持ちに。小さな賞でもいいので是非、町で取り組んでいたければ子ども達の励みになると思います。

聞き手

杉山 茂夫
松橋 一男

編集後記

今、六戸町の小・中学校では「地域コミュニケーション」と題して、地域のみなさんと一緒になって子どもを育てていこう、という活動を行っています。

私はその原点は秋祭りにあると思っています。秋祭りは地域が一体となって、準備から運営まで行っています。すべては子ども達のために、そうした大人達の背中を見て、六戸町の文化・伝統を学んでいくと思っています。

今、町内会の方々は、子ども不足・後継者不足に頭を抱えています。そうした伝統を守っていくという意味でも、子ども達が六戸町に対して誇りを持てるように、そして住み続けたいと思ってもらえる町であるように尽力していきたいと思っています。

広報委員 盛田 嘉彦

議会広報委員会

委員長 種市 正孝
副委員長 盛田 嘉彦
委員 川村 重光
杉山 茂夫
長根 一男
松橋 一男

発行責任者

議長 川村 重光